

研究に関するお知らせ

多施設後ろ向き観察研究 「胃癌 AI 診断の精度向上」のための研究

2021 年 3 月 5 日

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院消化器・肝臓内科では、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益をこうむることはありませんので、ご安心下さい。ご本人の申し出があれば、可能な限り情報・データ等及び調べた結果を廃棄します。しかし、参加の拒否や同意の撤回は、匿名化するまでの期間は随時行うことができますが、匿名化後は対応表が無いため研究データから削除することはできません。また、同意を撤回されたとき、すでに研究結果が論文等に公表されていた場合等は、廃棄することができませんのでご了承ください。

■研究目的・方法

本邦において、胃癌はいまだに罹患者数、死亡者数の多い癌種のひとつです。胃癌検診の推進や内視鏡診療の普及に伴い早期に発見される胃癌の割合は増加しておりますが、より精度の高い検査方法が望まれています。本研究では、胃癌の発見率の向上、および、治療方針を決定する質的診断能の向上を目指して、人工知能 (Artificial intelligence; AI) を用いた、胃癌の内視鏡自動診断システムの開発を行うことを目的としています。対象期間に胃癌と診断をうけた方の上部消化管内視鏡検査画像から病変が撮像された画像を抽出し、病変画像の特徴をAIに学習させることで胃癌に対する高性能なAI診断プログラムを開発していきます。

■研究期間

理事長承認日～2023 年 3 月

■研究の対象となる方

- ・ 2009 年 4 月から 2019 年 8 月までに当院で上部消化管内視鏡検査が行われ、胃癌と診断された方
- ・ 20 歳以上の方

■研究に用いる試料・情報の種類

対象患者さんの診療録および画像ファイリングシステムに記録された診療情報（年齢、性別、内視鏡所見・画像、病理組織所見等）を研究に使用させていただきます。使用に際して

は、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報に厳重に保護した状態で行っております。この研究のために、患者さんに新たにご負担頂く検査などはございません。

■外部への試料・情報の提供

研究組織において収集した情報は、匿名化した上でハードディスクに保存され、パスワードで秘匿されたハードディスクを研究分担者へ直接手渡しで供与します。提供された情報は、国立情報学研究所にて厳重に保管・管理されます。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き・手続きにかかる手数料等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究組織

研究代表施設：日本消化器内視鏡学会

研究統括責任者：日本消化器内視鏡学会 藤城 光弘
(名古屋大学大学院医学系研究科)

本研究は、当院を含む全国約 50 の Japan Endoscopy Database (JED) Project 参加施設 (日本消化器内視鏡学会指導施設)、日本消化器内視鏡学会 JED Project、国立情報学研究所がそれぞれ協力しながら行っている多施設共同の臨床研究です。

■当院の研究責任者：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター—国府台病院 消化器・肝臓内科 矢田智之

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター—国府台病院

千葉県市川市国府台 1-7-1

電話番号 047-372-3501

受付日時：月曜～金曜、午前8時30分から午後5時

研究責任者 国府台病院 消化器・肝臓内科 矢田智之